

## 東京港における植物の輸入状況（平成 29 年）

東京港は首都圏の一大消費地を背後に、平成 29 年も 20 年連続で国内最多のコンテナ貨物を取扱い、国民生活と産業活動を支える物流拠点として重要な役割を担っている。

平成 29 年の東京港における植物検疫対象輸入植物の概要は表のとおりで、重量ベースで 208.8 万ト（前年比 105.7%）と 2 年連続で増加となった。輸入植物の生産国は 102 の国と地域に及び、重量ベースでみると、全体ではアメリカが第一位で約 40.8% を占めている。

**栽植用植物**：前年比 263.4% と増加した。草花類や樹木類など、6 カ国から輸入され、主な増加品目は、中国産ヒカゲノカズラ属苗、ベトナム、タイ、中国から輸入されたファレノプシス属苗で、年間通じて定期的に輸入された。

**栽植用球根**：前年比 91.9% と減少した。主な種類は、ユリ 1,905 万球（同 98.2%）、チューリップ 13 万球（同 8.9%）、スイセン 84 万球（同 84.0%）であった。7 カ国から輸入され、オランダ産が約 6 割を占めている。

**栽植用種子**：前年比 91.9% と減少した。野菜の種子、飼料・緑肥作物の種子、普通・特用作物などが主で、25 カ国から輸入され、その半数近くがアメリカ産である。全体の 4 割以上を占める飼料・緑肥作物の種子は 1,597 ト（同 105.2%）と増加した。

**切花、切葉、切枝**：前年比 111.6% と増加した。キク 8,258 万本（同 120.8%）、カーネーション 1,475 万本（同 112.9%）、オンシジューム 1,508 万本（同 104.2%）、ヒサカキ 10,631 万本（同 99.0%）など、多種類の切花、切葉、切枝が 13 カ国から輸入され、特に中国産は 15,699 万本（同 105.6%）と増加し、全体の約半分を占めている。

**果実**：前年比 105.7% と増加した。40 カ国から輸入され、全体の約半分を占めるバナナは 233,544 ト（同 105.7%）と増加した。専用船積フィリピン産バナナは 208,041 ト（同 106.2%）と増加した。コンテナ最多本数はアボカド

1,849 本で 283 本増加し、34,079 ト（同 118.1%）と大きく増加した。グレープフルーツ 32,407 ト（同 105.2%）、オレンジ 25,260 ト（同 81.2%）、レモン 28,677 ト（同 102.7%）であった。

**野菜**：前年比 101.2% と増加した。33 カ国から輸入され、8 割以上を占める中国産は 265,444 ト（同 104.9%）と増加した。野菜全体の 4 割以上を占めるタマネギが 133,776 ト（同 105.2%）と増加し、特に中国産は 119,247 ト（同 106.2%）、コンテナ本数は 4,826 本と 297 本増加した。ニンジン 38,640 ト（同 102.9%）、ナガネギ 29,877 ト（同 104.3%）、キャベツ 17,289 ト（同 178.4%）、ブロッコリ 7,169 ト（同 63.6%）であった。

**穀類**：前年比 92.7% と減少した。27 カ国から輸入され、5 割以上が専用船積コムギで 221,429 ト（同 83.5%）と減少した。モルトは 15 カ国から輸入されコンテナ本数は 6,346 本と 140 本増加した。

**豆類**：前年比 116.1% と増加した。27 カ国から輸入され、9 割以上がダイズで 10 カ国から輸入され 150,721 ト（同 113.8%）、コンテナ本数 7,497 本と 959 本増加した。

**嗜好香辛・葉染料・その他食品**：前年比 98.4% と減少した。83 カ国から輸入され、タバコ 17,709 ト（同 80.5%）と減少し、アーモンド 16,705 ト（同 122.5%）と増加した。

**油料・肥飼料・その他雑品**：前年比 117.4% と増加した。49 カ国から輸入され、乾燥牧草が 500,335 ト（同 115.4%）と増加し、主要産地別コンテナ本数はアメリカ 18,480 本（+2,073 本）、カナダ 2,975 本（+872 本）、オーストラリア 99 本（-16 本）であった。

**木材**：前年比 1,108.9% と大幅に増加した。米国と中国の 2 カ国から 743m<sup>3</sup> 輸入された。専用船での輸入は平成 21 年以降途絶えている。（業務グループ・青島 英夫）

表 植物の分類別輸入数量（東京港）

分類 単位 年次	栽植用植物	栽植用球根	栽植用種子	切花切葉切枝	果実	野菜	穀類	豆類	嗜好香辛料・他辛染料食品	油料・肥飼料・他飼雑品	木材	* 合計
	(千個)	(千個)	(千トン)	(千個)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(m <sup>3</sup> )	(千トン)
平成29年	2,668	22,316	3.4	306,401	481	331	406	158	63	646	743	2,088
平成28年	1,013	24,287	3.7	274,640	455	327	438	136	64	550	67	1,974
29/28年比(%)	263.4%	91.9%	91.9%	111.6%	105.7%	101.2%	92.7%	116.1%	98.4%	117.4%	1108.9%	105.7%

\* 合計は、重量単位の数量のみ集計した。

**オーストラリア産ハス種****アボカド生果実 条件付輸入解禁**

平成 30 年 1 月 26 日付でオーストラリア産ハス種アボカド生果実が条件付きで輸入解禁された。

○主な条件は次のとおり

- ・指定生産園地で生産されたハス種アボカド生果実（成熟したものを除く。）であること。
- ・指定生産園地は、オーストラリア（タスマニアを除く。）のうち、オーストラリア植物防疫機関が掲げる要件を満たしている地区として指定した地域内であること。
- ・クインズランドミバエが発生していないこと。
- ・同ミバエについてトラップ調査及び生果実調査が行われていること。
- ・オーストラリア内の同ミバエ発生地域及び同ミバエ発生国からの寄主植物の移入につき厳重な規制が行われていること。

その他輸入条件の詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

**ぶどう苗の民間施設における隔離栽培について**

今年 1 月、輸入ぶどう苗の隔離栽培（隔離検疫）が民間施設において可能となった。

近年のワインブームや国産ワインの振興により、醸造用ぶどう苗の輸入需要が拡大傾向にある中、十分に検査精度を維持しつつ隔離検疫の受け入れ本数を増加させるための検討の結果、民間施設においてぶどう苗の隔離検疫を実施することが可能となった。

輸入者が民間施設において隔離栽培を希望する場合には、植物防疫所に隔離栽培を行う旨を申請し、植物防疫所によって施設の認定を受ける必要があります。認定を受けるために必要となる施設の条件については以下のとおり。

1. 指定施設の条件の概要  
ウイルス媒介性昆虫等の侵入・散逸を防止するため、以下の構造であること。
- (1) 鉄骨作り等で強度を持ち、出入口には前室を置いて外部に開かない状態が維持でき、かつ施錠できる施設であること。
- (2) 外部への開口部には 0.3mm 以下の網掛けを行い、床面は施設の底面から外部への水の漏出を防止できる構造であること。消毒機器（オートクレーブ）等を具備すること。
- (3) 施設に管理責任者を置き、病害虫のまん延防止のため

めの管理が行われること。

その他指定施設の条件詳細及び例示、指定施設における隔離栽培の流れについては、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

**くん蒸によらない方式による米国カリフォルニア州産さくらんぼ生果実の輸入再開について**

平成 29 年 5 月に、米国カリフォルニア州産さくらんぼから、輸入禁止対象病害虫であるコドリリングの幼虫が発見されたため、米国側は、同州産さくらんぼの輸出を停止し、その後、日米両国間で改善措置の協議を行ってきました。

今般、当該改善措置に合意し、平成 30 年 3 月 9 日付けで、輸入を再開しましたので、お知らせいたします。

○くん蒸によらない方式の主な輸入検疫条件

1. 指定された州の害虫（コドリリング）低発生園地で生産されること。
2. 害虫の発生調査が定期的に行われ、害虫の発生数が一定数以下であること。
3. 寄生果の確認調査が集荷から輸出までに 3 回（こん包施設到着時、選果後、輸出検査時）行われること。  
（今回の害虫発見を受けて、こん包施設到着時の寄生果実の確認については、検出の精度の向上のため、サンプル数を 300 果から 600 果に倍増。）

その他輸入条件の詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

**輸出用木材こん包材消毒実施者の認定更新**

（一社）全国植物検疫協会認定の「輸出用木材こん包材消毒実施者」は、3 月末日をもって 3 年間の認定期間が満了となるため、当協会が管轄する 2 社の消毒実施者について 4 月からの更新手続きをおこなった。

認定更新を申請するにあたっては、実地調査により、適正な管理がなされているかの確認を行う。熱処理の消毒実施者については庫内温度の均一性試験を行うこと、くん蒸の消毒実施者については「農薬使用計画書」・「技術講習修了証」・「こん包材くん蒸技術講習会修了証」の提出などが必要となる。

なお、輸出用木材こん包材生産者の登録有効期間は来年の 3 月末日までとなっている。

**東京植物検疫協会事務局人事**

○4 月 1 日付

業務グループ課長代理

阿部 将之（業務グループ主任）

**会員・役員の変動（平成 30 年 2 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）**

☆退会会員

2 月 28 日 (株) アベニール

3 月 31 日 東京多摩青果(株)、TOSHI INTERNATIONAL(同)、日本マテリオ(株)  
(株)藤井商店、(株)フレッシュダイレクトインポーツ

## タイム eye

### 業務グループ 東京港アボカド生果実輸入量増加

東京港ではアボカド生果実の輸入量が年々増加しており、2017年の輸入コンテナ本数は1,849本(対前年+283本)と生果実全体の品目で最多輸入本数となった。輸入量は34,079トと前年対比118.1%と大きく増加し、5年前の2012年輸入量15,918トと比べ、2倍以上になっている。今年2月までの輸入量は6,338トと同113.8%の増加となっている。

消費者の健康志向や、美味しさと調理し易さなど、ニーズの増加に加え、東京港に入港するコンテナ船の南米航路増加やニュージーランド定期航路など、安定して入港したことが増加理由の一つとなっている。

生産国毎の輸入量は表の通り、全体の約9割を占めるメキシコ産(30,516ト)が同118.7%と増加した。特に増加しているペルー産(2,754ト)は、2015年6月に条件付き輸入解禁され、同372.6%と大幅に増加している。

また、今年1月にオーストラリア産ハス種アボカド生果実が条件付き輸入解禁され、輸入量増加に伴い生産地も多様化している。

#### 東京港アボカド生果実輸入量(ト)

産地/年	2016年	2017年	前年対比
メキシコ	25,692	30,516	118.7%
ペルー	739	2,754	372.6%
アメリカ	1,288	416	32.2%
NZ	982	313	32.6%
チリ	153	78	50.9%
合計	28,854	34,079	118.1%

アボカド生果実の輸入期間は、主要産地であるメキシコ産が一年を通じて輸入され、ペルー産は6~9月、ニュージーランド産は9~12月、アメリカ産は6~7月、チリ産は7~11月の期間となり、安定的に輸入されている。

アボカドは、世界で3,000以上の品種があるが、日本に輸入されている主要品種のハス種は、成熟すると皮が黒くなるのが特徴で、食べごろの目安となっている。

アボカドは栄養価が非常に高く、口当たりがねっとりとし、果実であるのにも関わらず脂質が全体の約20%を占めていることから「森のバター」や「バターフルーツ」とも呼ばれている。そのまま食べるのではなく、わさび醤油やサラダのトッピングとして家庭でもよく食べられ、ファミリーレストランなどの外食店でも、アボカドを用いたハンバーグや巻き寿司など、いろいろな料理を提供する店を多く見かけ、料理の応用範囲の広さに加え、美味しさと健康志向を兼ね揃えたフルーツとして日本の食卓にかかせない食材の一つになっている。

(萩原 貴史)

### 業務グループ 生鮮葉物野菜輸入急増

東京港で今年1月~2月に輸入された主な生鮮葉茎菜類野菜(キャベツ・ハクサイ・レタス)は、21,811トで前年同期比352.8%、コンテナ本数は1,306本で前年より1,001本増加した。各品目では、キャベツが13,128トで同366.0%、ハクサイが3,522トで同2,363.7%、レタスが5,161トで同210.9%と増加している。

東京港の今年1月~2月の上記3種の輸入コンテナ本数は以下の通り。

#### 東京港生鮮葉茎菜類野菜1月~2月(本)

品目	平成29年	平成30年	(±)本数
キャベツ	180	665	+485
ハクサイ	8	198	+190
レタス	217	443	+226

このように近年では稀に見る増加となった。昨秋の台風と何十年ぶりといわれる低温と降雪によって、国産葉茎菜類の絶対量が不足したために中国を筆頭に台湾、米国、ベトナム、韓国産で業務用途を中心に輸入が一気に増加した形となった。特にハクサイについてはもともと輸入量が少ない品目であったが、漬物用途として韓国からの輸入が急増した(写真下)。これだけ輸入量が増加しても葉茎菜類の一般小売価格には反映せず、2倍以上の高値が続き冬の鍋物は高級料理となってしまった。



業務加工用野菜は、タマネギやニンジン、ナガネギを中心に使用されることが多いが、昨年末頃から本来なら国産葉茎菜類を使っていた業者も輸入品に切り替えて対応せざるを得なくなったようだ。

また1月の税関統計によると全国で輸入されたキャベツとレタスの40%以上が東京港に集中して全国1位の輸入量となり、ハクサイは神戸港に次いで第2位と東京港に集中したことも輸入量急増の要因となった。

3月に入り、寒さがようやく緩んだことから、少しづつ国産野菜の小売り単価が下がってきたが、これまでの低温の影響で春野菜の生育が少し遅れており、もう少し輸入量が多い状態が続く見込みで、今後の輸入動向に注目したい。家計面からも早く野菜の価格が下がることを願うばかりだ。

(阿部 将之)

東京港輸入植物品目別統計表

(平成30年1月-2月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
<b>栽植用植物</b>	<b>個</b>	<b>7</b>	<b>307,793</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>307,793</b>	<b>0</b>
<b>栽植用球根類</b>	<b>個</b>	<b>15</b>	<b>1,934,290</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,934,290</b>	<b>0</b>
アマリリス	"	7	73,740	0	0	0	73,740	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	8	1,860,550	0	0	0	1,860,550	0
<b>栽植用種子</b>	<b>kg</b>	<b>70</b>	<b>695,498</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>695,498</b>	<b>0</b>
草花・樹木	"	0	123	0	0	0	123	0
野菜	"	26	124,843	0	0	0	124,843	0
普通・特用作物	"	25	328,823	0	0	0	328,823	0
牧草・芝草	"	15	232,960	0	0	0	232,960	0
<b>切花、切葉、切枝</b>	<b>個</b>	<b>253</b>	<b>40,095,816</b>	<b>1,824,978</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>40,095,816</b>	<b>1,824,978</b>
アンスリウム	"	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	"	26	1,237,980	74,210	0	0	1,237,980	74,210
キク	"	118	9,476,500	281,370	0	0	9,476,500	281,370
シダ(レザーフアン)	"	21	4,852,000	10,000	0	0	4,852,000	10,000
<b>果実</b>	<b>kg</b>	<b>2,118</b>	<b>37,939,891</b>	<b>2,097,175</b>	<b>36,555,936</b>	<b>31,171,044</b>	<b>74,495,827</b>	<b>33,268,219</b>
オレンジ	"	322	5,241,967	0	0	0	5,241,967	0
グレープフルーツ	"	259	5,361,164	208,976	0	0	5,361,164	208,976
タンジェロ(ミネオラ)	"	127	2,078,704	0	0	0	2,078,704	0
レモン	"	236	4,292,194	0	0	0	4,292,194	0
パイナップル	"	87	1,757,791	51,438	4,000,380	3,402,040	5,758,171	3,453,478
バナナ	"	230	4,083,127	727,027	32,548,713	27,769,004	36,631,840	28,496,031
マンゴウ	"	13	233,770	0	0	0	233,770	0
キーウイフルーツ	"	36	597,955	0	0	0	597,955	0
ブドウ	"	94	1,556,971	0	0	0	1,556,971	0
<b>野菜</b>	<b>kg</b>	<b>4,127</b>	<b>75,707,201</b>	<b>767,719</b>	<b>94</b>	<b>0</b>	<b>75,707,295</b>	<b>767,719</b>
カボチャ	"	135	3,080,354	214,800	0	0	3,080,354	214,800
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	7	49,860	0	0	0	49,860	0
パプリカ	"	34	223,170	0	0	0	223,170	0
メロン(ハミウリ含む)	"	5	88,474	0	0	0	88,474	0
キャベツ	"	665	13,128,569	0	0	0	13,128,569	0
セロリ	"	31	516,241	47,270	0	0	516,241	47,270
ナガネギ	"	370	4,725,551	0	0	0	4,725,551	0
ニンニクの芽	"	14	321,241	0	0	0	321,241	0
ハクサイ	"	198	3,522,365	304,740	0	0	3,522,365	304,740
ブロッコリー	"	229	2,122,156	17,418	0	0	2,122,156	17,418
レタス	"	443	5,161,244	79,994	0	0	5,161,244	79,994
タマネギ	"	799	19,575,139	86,620	0	0	19,575,139	86,620
ニンニク	"	105	1,532,660	0	0	0	1,532,660	0
アスパラガス	"	11	119,217	0	0	0	119,217	0
ゴボウ	"	58	1,607,254	0	0	0	1,607,254	0
サトイモ	"	11	236,320	0	0	0	236,320	0
ショウガ	"	73	1,596,381	0	0	0	1,596,381	0
ニンジン	"	284	7,633,470	0	0	0	7,633,470	0
<b>こく類</b>	<b>kg</b>	<b>1,486</b>	<b>30,479,864</b>	<b>0</b>	<b>28,673,557</b>	<b>0</b>	<b>59,153,421</b>	<b>0</b>
オオムギ	"	13	249,844	0	0	0	249,844	0
エンバク	"	46	944,588	0	0	0	944,588	0
コムギ	"	34	672,325	0	28,673,557	0	29,345,882	0
コメ	"	431	8,331,560	0	0	0	8,331,560	0
ソバ	"	20	397,270	0	0	0	397,270	0
トウモロコシ	"	36	647,767	0	0	0	647,767	0
モルト	"	873	18,596,238	0	0	0	18,596,238	0
<b>まめ類</b>	<b>kg</b>	<b>1,303</b>	<b>26,188,229</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>26,188,229</b>	<b>0</b>
エンドウ	"	24	498,380	0	0	0	498,380	0
ダイズ	"	1,203	24,293,700	0	0	0	24,293,700	0
ラッカセイ	"	48	993,242	0	0	0	993,242	0
<b>嗜好香辛、薬染料、その他食品</b>	<b>kg</b>	<b>766</b>	<b>11,615,513</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>11,615,513</b>	<b>0</b>
カカオ	"	14	280,567	0	0	0	280,567	0
コーヒー	"	10	123,883	0	0	0	123,883	0
タバコ	"	112	2,051,930	0	0	0	2,051,930	0
アーモンド	"	208	3,446,983	0	0	0	3,446,983	0
クリ	"	5	59,120	0	0	0	59,120	0
クルミ	"	131	2,026,615	0	0	0	2,026,615	0
ポップコーン	"	67	1,380,904	0	0	0	1,380,904	0
<b>油料、肥飼料、その他雑品</b>	<b>kg</b>	<b>4,508</b>	<b>101,433,165</b>	<b>90,119</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>101,433,165</b>	<b>90,119</b>
乾燥牧草(ヘイ)	"	3,256	74,518,271	90,119	0	0	74,518,271	90,119
アニマルフィード	"	3	47,345	0	0	0	47,345	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	"	252	6,408,095	0	0	0	6,408,095	0
コーンコブミール	"	2	50,400	0	0	0	50,400	0
飼料用大豆カス、ペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
ビートパルプペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
イネワラ	"	22	342,306	0	0	0	342,306	0
ココピート	"	84	1,590,547	0	0	0	1,590,547	0
ココヤシ園芸資材	"	67	1,431,654	0	0	0	1,431,654	0
ビートモス	"	225	5,004,366	0	0	0	5,004,366	0
ミズゴケ	"	7	18,354	0	0	0	18,354	0
タケ	"	24	381,302	0	0	0	381,302	0
<b>木材</b>	<b>m3</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>
<b>** 総合計 **</b>	<b>kg</b>	<b>14,378</b>	<b>284,059,361</b>	<b>2,955,013</b>	<b>65,229,587</b>	<b>31,171,044</b>	<b>349,288,948</b>	<b>34,126,057</b>
	<b>個</b>	<b>275</b>	<b>42,337,899</b>	<b>1,824,978</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>42,337,899</b>	<b>1,824,978</b>
	<b>m3</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含めない。